

京都

丹波・丹後

加悦谷高、文科大臣表彰

キャリア教育優良校

与謝野町の府立加悦谷高が本年度のキャリア教育優良校文部科学大臣表彰を受けることになった。大工の棟りょうをはじめ、地域の第一線で

働く社会人を招いて本音のトークを聞く「地域人授業」を続け、きめ細かい進路の指導を実践するなどの地域に密着した活動が高く評価された。

【塩田敏夫】

就職希望者には徹底した面接指導を続けている。「就職水河期」といわれる厳しい状況に、教員たちも「飛び込み」で求人への依頼を重ねるなど努力し、訪問企業は数百社を超えたという。

一人一人にきめ細かな進路指導 評価

第一線で働く住民招き授業



就職の面接試験を練習する生徒たち。表情は真剣そのものだ。与謝野町の府立加悦谷高で

「ハイレベルな文武両道」を目指した教育を掲げ、生徒一人一人の進路実現を図ってきた。「社会人授業」では、地域の「おっちゃん、おばちゃん」を招き、「いきさま」を語ってもらう授業を全クラスで実施。介護や医療、教育などの第一線で活躍する人たちの本音を聞き、社会の現実の厳しさと人とのつながりの大切を学んでいる。

生徒の中で、教員志望者は近くの小学生を3日間個人指導し、「教える立場」を学ぶなど現場体験を重視してい

毎日新聞(京都丹波・丹後版)

[平成24年1月10日(火)付け]